

コニカミノルタ株式会社

第119回定時株主総会

主な質問と回答

日 時： 2023年6月20日（火）10:00

場 所： 東京マリオットホテル／動画配信

<ご留意事項>

「主な質問と回答」は、定時株主総会に出席になれなかった方々の便宜のため、参考として掲載していません。総会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

【2022年度の業績について】

Q. 大きな減損損失を計上したが、膿は出し切ったのでしょうか？

A. のれんや無形資産を持つ事業の将来計画については、現時点で想定するリスクを合理的に織り込むなど、従来以上に慎重に作成しております。将来計画達成に向け、期中における事業計画の進捗や実績に照らし合わせた将来計画の妥当性に関するモニタリングを一層強化して参ります。

Q. 今回の減損損失の計上から会社として何を学んだのでしょうか？

A. プレシジョンメディシン事業については、買収後の事業計画通りに進捗しないときの軌道修正の検討が不十分でした。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、患者様の病院への来院数が激減したことや、米国における金利影響による現在価値割引率の上昇などの外部要因はありましたが、適切な対処の機会を逃してなかったかという点を含め反省する部分があります。今後の大型・新規投資は、従来以上に判断基準を厳しくし、十分に検討したうえで取り組みます。

Q. 大きな減損損失が発生したが、執行として経営責任はどのように考えていますか？

A. 前期の執行役報酬は既に確定しています。当然ながら、前期の連結業績をベースとした業績連動報酬の支払い額はごくわずかな額となりました。それに加え、当期の期末配当を無配としたことを鑑み、執行役

の役員報酬を一部自主返上することとしました。黒字化を果たし、早期の復配と株価向上で株主の皆様
に報いることに、覚悟を持って臨んでいるのでご理解をいただきたいと考えています。

【経営方針について】

Q. 決算発表後に株価が下落していますが、今後株価を向上させるために何を行いますか？

A. 現在の株価水準は、前期の減損処理もさることながら、今期の業績見通しに対しての失望感が最大の
要因と考えています。まずは黒字化が必達だと考えていますが、今期は環境変化によらず最低限達成す
べき見通しをお示しました。このためには、非重点事業と方向転換事業の赤字を無くすことが必須です。
2023・24 年度には、赤字事業の収益改善も可能な限り行いますが、限界があるときは赤字事業を切
り離し、そのうえで ROE5～8%を狙えるような体質に変えていくことで株価を向上させます。投資家の
方々に成長領域についてのご理解いただき、株価形成に寄与する IR 活動を強化していきたいと考えて
います。

【コーポレートガバナンスに関して】

Q. コーポレートガバナンス委員会が具体的にこれから何をしていくのでしょうか？

A. コーポレートガバナンス委員会は、コーポレートガバナンス全体の設計・運用に関する検討を行う目的で設
置しました。内容が確定した段階で適切に開示していきます。

Q. 指名委員会等設置会社としての指名委員会の機能を本当に果たしているのでしょうか？

A. 指名委員会は毎年、取締役や委員会の構成や選任基準についてレビューを実施しています。会社が
大きな損失を出したことは取締役会全体の責任と全員が感じていますが、個別の指名に関する事項は
その時のベストを尽くして議論を重ねてきているので、指名委員会として役割を果たしていると考えていま
す。

Q. 四期連続赤字という中で、監査委員会としての機能を果たしているのでしょうか？

A. 監査委員会は取締役・会社トップ含む執行役の不正行為の防止のため、取締役・執行役の職務執行
の監査を行っています。この期間における監査は適切であったと認識しております。今回の件からの学びに
基づき、内部統制システムの整備・運用状況について再点検し、今後も取締役・執行役の職務につい
て確実な監査を実行します。

以上